

令和 8 年 1 月 30 日

島田市長 染谷 絹代 様

島田市総合計画審議会
会長 森 俊太

第 3 次島田市総合計画の策定について（答申）

令和 6 年 9 月 19 日付け島市戦第 109 号で諮問がありました第 3 次島田市総合計画の策定について、当審議会において 6 回にわたり慎重に審議を重ねた結果、当計画案は、目指す将来像の実現に向けて市が取り組む方向性を示すものとして適切なものであると認めますので、下記事項に十分留意されるよう意見を付して答申します。

なお、審議を通して多くの委員から有益な意見や提案などがありましたので、今後、市政運営に十分配慮されるよう希望します。

記

- 1 地域の課題が多様化・複雑化する中、市民や事業者と協働して課題の解決に取り組むことで島田市の持続可能性を高め、「笑顔あふれる 安心のまち 島田」の実現を図られたい。併せて、市民や事業者がまちづくりへの関心を持ち、自分事として捉えていただくための取組を推進されたい。
- 2 市民一人ひとりがそれぞれの個性や考え方を認め合い、尊重し合うことのできるまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせるまちの実現を図られたい。
- 3 めざそう値や成果指標について、市民や事業者に対し、指標設定の考え方や目標値の設定根拠、また、達成状況や評価結果等を分かりやすく示したうえで、成果の最大化に向けた効果的な手法の検討や事業改善を行うなど、市民・事業者・行政が一体となって、当計画の推進に取り組まれたい。

【添付資料】

- ・別紙 1 島田市総合計画審議会審議経過
- ・別紙 2 審議会委員から出された主な意見や提案の内容

以上

(別紙 1)

●島田市総合計画審議会審議経過

事項	開催日	開催内容
第1回 総合計画審議会	令和6年9月19日	<ul style="list-style-type: none">・市長諮問・島田市の現状について・策定方針（案）について
第2回 総合計画審議会	令和7年2月13日	<ul style="list-style-type: none">・第3次島田市総合計画の全体像について・基本構想の基本理念及び将来像について・分野別の認識、政策の方向性、施策の柱について
第3回 総合計画審議会	令和7年6月17日	<ul style="list-style-type: none">・これまでの策定状況及び今後のスケジュールについて・前期基本計画の構成案及び総合計画とデジタル田園都市構想総合戦略との統合案について・分野別まちづくりの方向性について
第4回 総合計画審議会	令和7年10月21日	<ul style="list-style-type: none">・第3回審議会意見に対する対応・考え方及び「基本計画分野別まちづくりの方向性」の修正について・前期基本計画評価指標について・前期基本計画地域別まちづくりの方向性について
第5回 総合計画審議会	令和7年11月18日	<ul style="list-style-type: none">・第4回審議会意見に対する対応・考え方及び「基本計画分野別まちづくりの方向性」の修正について・島田市議会全員協議会における意見について・第3次島田市総合計画（案）について
第6回 総合計画審議会	令和8年1月26日	<ul style="list-style-type: none">・第5回審議会及び議会等からの意見への対応について・その他の修正内容及び巻末資料について・答申書（案）について

●審議会委員から出された主な意見や提案の内容

- ・価値観の多様化が進む中、市民一人ひとりが互いを認め合い、尊重しながら安心して生活することができるまちづくりを目指し、各施策を着実に実施していただきたい。
- ・昨今、地域課題は多様化・複雑化しており、行政だけでは解決が難しい課題が増えている。民間の力を活用しながら、市民とともに課題解決に取り組んでいただきたい。
- ・持続可能なまちづくりを推進するにあたり、DX・GXといった視点を分野横断的に取り入れながらも、島田市ならではの魅力や強みを活かす施策を実施していただきたい。
- ・各施策の柱における指標の目標値について、設定の考え方を示し、市民の理解・協力を得ながら、各施策の推進に取り組んでいただきたい。
- ・緊急時において、在住外国人などの日本語が分からない方が不安を抱えることがないように、防災情報の多言語化などを進め、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいただきたい。
- ・「市民ひとり1スポーツ」というスローガンを掲げる中、スポーツ参加に対して消極的な方へアプローチをするとともに、交通手段のない方も身近でスポーツを楽しめる環境の整備に取り組んでいただきたい。
- ・空き家対策においては、利活用の促進だけでなく、解体・撤去の支援といった面からも施策を講じ、安全・安心なまちづくりを進めていただきたい。
- ・昨今の異常気象により、子どもの運動環境は大きく変わってきた。こうした環境の変化を捉えたうえで、必要な施策を講じ、子どもたちが安心して身体を動かせる環境づくりに取り組んでいただきたい。
- ・歴史や文化、特産品など島田市の魅力を改めて整理し、外部に発信していくとともに、情報の多言語化や富士山静岡空港からの二次交通の充実など、インバウンドを受け入れる環境の整備を推進し、関係人口の増加に取り組んでいただきたい。

- ・担い手や後継者の不足による廃業が増加している昨今、事業承継は喫緊の課題であるが、その育成には相当の時間を要する。安定して事業が継続できるよう中小企業者等に対して十分な支援策を講じていただきたい。
- ・インフラの老朽化が進む中、メンテナンスのしやすさを意識した整備が必要となる。デジタルの力も活用しながら、インフラの持続可能性を高めていただきたい。
- ・島田市のゼロカーボンシティ宣言について、市民に対して一層の周知を図り、各々の温室効果ガス抑制に努める意識を醸成するとともに、市として具体的な数値を持って温室効果ガスの削減に取り組んでいただきたい。
- ・デジタル技術の進歩により、様々な手続きがオンラインで行えるようになった一方で、操作方法などを新たに覚える必要が生じ、それが難しいと感じる方もいらっしゃる。分かりやすい説明や抵抗感を払拭する取組を進め、誰一人も取り残さないデジタル社会の実現を目指していただきたい。